



Newsletter 2024 No.3

日本観光ホスピタリティ教育学会学会報

通巻 第68号 発行 2025年2月25日

◇学会事務局：杏林大学外国語学部 古本泰之
〒181-8612 三鷹市下連雀 5-4-1 杏林大学外国語学部内
Tel 0422-47-8000 (代表) Fax 0422-47-8077 (共用)
email: jimujsthe.org ◇学会 URL : https://jsthe.org
◇編集・発行人：野口洋平 (愛知淑徳大学)
(noguchik@asu.aasa.ac.jp)

【2024 年度全国大会のご案内】

今年度の全国大会は、2025 年 3 月 8 日(土)・9 日(日)の 2 日間にわたり、「大阪・関西万博を契機とした新たな観光ホスピタリティ教育のデザイン」をテーマとして、立命館大学大阪いばらきキャンパス (大阪府茨木市) において開催いたします。詳細は、別途お送りする「最終案内」および学会ウェブサイトをご確認ください。

なお、参加申し込みについては、ウェブサイト (Peatix) からの登録となっております。以下の URL からアクセス可能です。1 日目のシンポジウムは非会員の参加も可能ですので、お問い合わせの上ふるってご参加ください。

■ 全国大会参加申し込み URL

<https://jsthe2024.peatix.com/>



■ 全国大会懇親会申し込み URL

<https://jsthe2024reception.peatix.com>



【理事会報告】

<2024 年度第 5 回理事会>

日時：2025 年 1 月 25 日 (土) 13:00~14:30

オンライン会場：会議システム Zoom

出席：藤田、中村、福本、岩田、大串、坂本、澁谷、鈴木、丹治、千葉、中井、難波、野口、古本、森越、米盛、高橋、橋本、大島、峯俊、森園

欠席 (委任)：板垣

〔報告事項〕

議事 1. 会務報告 (各委員会・事務局より)

編集委員会の中村委員長より、機関誌第 18 号の編集状況について報告がありました。本号は 2025 年度に発行する予定です。第 19 号の原稿募集については、4 月 30 日を締切とする予定です。

古本理事より山上徹名誉会員の叙勲に関わる資料を提出したことの報告がありました。

〔審議事項〕

議事 1. 機関誌編集規定の改定

編集委員会の中村編集委員長より、グループ研究助成の研究成果の機関誌掲載に伴う編集既定の改訂について説明がありました。

議事 2. 2024 年度全国大会について

全国大会実行委員長の峯俊理事より、大会の準備状況について説明がありました。

1 日目に開催されるシンポジウムの会場について検討がなされました。審議の結果、H324 (定員 148 名) を第 1 候補としつつも、現場を確認した際にパネルディスカッションの実施には不向きだと判断された場合には、H301 (定員 324 名) とすることになりました。

懇親会会費を 6,000 円とすることが了承されました。また、基調講演者、非会員のパネルディスカッション登壇者 2 名を無料招待とすることも併せて確認されました。懇親会会場には、過年度の懇親会参加人数を参考にしながら、2 月上旬までに人数を伝えることとなりました。

出版者による出店について検討されました。ブースの設置は特別会員の特典であるため、特別会員との扱いを分ける必要があるとの指摘がありました。そのため、出版者による出店を認める方針としながらも、特別会員がブースの設置を希望する場合には扱いを検討することとなりました。

編集委員会の中村委員長より、研究報告・教育実践報告のエントリー状況 (言語別・会員種別エントリー数、研究助成に対応する応募、対応事項) について報告がありました。発表者から動画使用の申し出がありましたが、これについては、大会実行委員会と相談しながら進めることとなりました。

国際化推進 WG の藤田会長より、大会中の空きスロットを利用した英語による特別企画 (Campfire Session) の開催について提案がありました。審議の結果、2 日目の 9~10 時に “Internationalization of tourism and hospitality education” をテーマにやさしい英語を用いて開催することが了承されました。

編集委員会の中村委員長より、研究発表会のプログラム構成案について 4 案が示されました。英語特別企画の実施を踏まえ、大会 1 日目の 13:00~15:00 に「5 会場×発表者 6 人」の形式で開催することとなりました。

全国大会実行委員長の峯俊理事より、大会中の使用教室を H 棟 3 階に集約する旨説明がありました。詳細は今

後中村委員長と調整します。

研究事業委員会の鈴木理事より2日目開催のワークショップについて、「観光ビジネス導入後の教育課題と今後の展望(高大連携)」でモデレーターが確定したことが報告されました。併せて「観光・国際学系(学部学科)の現状と課題」のモデレーターについて検討がなされ、福本副会長の方針で進めることが確認されました。

参加費の支払いについて、総務委員会の大串理事より説明がありました。これまで参加費の徴収にPeatixを使用してきたものの、手数料の関係で別サービスの導入に向けて手続きを進めています。今大会での導入が難しい場合には、Peatixで徴収を行います。

国際化推進WGの藤田会長より、大会国際化に向けての提案がありました。発表者に任意で英語キーワードをスライドに入れてもらうよう会長名で発表予定者にメールで依頼をすること、会場の英語表記をすることが了承されました。

議事3. グループ研究助成について

新規事業委員会の千葉委員長より、2025年度グループ研究助成の募集について説明がありました。本助成は1月22日から2月15日に募集をしたのち、3名による審査を行います。審査結果を3月7日開催の理事会で報告予定です。また、現在助成を受けている2件のグループ研究の進捗状況について、報告がありました。

議事4. 退会審査・報告：事務局

1名の退会が報告されました。

議事5. その他

国際化推進WGの森越理事より、国際会議“ICDES2025”から学会になされている協力要請の内容について説明がありました。審議の結果、国際会議を全国大会でPRすること、学会員数名がモデレーターとなってセッションのサポートを行うこと、学会ロゴを協力団体として掲載することの3点が了承されました。

【編集委員会】

機関誌『観光ホスピタリティ教育』第18号

<投稿原稿募集のお知らせ>

日本観光ホスピタリティ教育学会の機関誌『観光ホスピタリティ教育(英語名: Annals of Tourism & Hospitality Education)』の投稿原稿を募集いたします。

観光ホスピタリティ分野の教育活動を行っている大学院、大学、短期大学、専門学校、高等学校はますます増加しております。会員の皆様がかかわったさまざまな教育実践の取り組みや学術的な研究の成果をぜひ、本学会の機関誌でご発表ください。

会員の皆様からの投稿を編集委員会一同、心からお待

ちいたしております。また、編集委員会から原稿執筆などをお願いした際には、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

■ 第19号の原稿締切日：2025年4月30日(水)

※ 締切厳守

原稿投稿先：投稿申込書1部(Word)と投稿者の氏名を削除した審査用原稿1部(WordおよびPDF)にて本学会本部事務局(jimu@jsthe.org)にメールで送付。申込書は本学会ホームページからダウンロードください。

【国際化推進ワーキンググループより】

2025年5月8日から11日まで北海道大学に於いてICDES(International Conference on Destinations, Events and Sports) 2025の国際会議が実施されます。著名な基調講演者もご参加の充実したプログラムとなっております。是非ご参加をご検討下さい。

詳細や参加申し込みは、大会HPをご覧ください。

<https://www.icdes2025.com/>

【編集人より】

ニューズレターでは、会員の皆さまから提供された観光ホスピタリティ教育の情報や書籍紹介を掲載しております。書籍紹介は、原則として本学会会員が執筆した発行から2年以内の書籍(定期刊行物を除く)を扱います。ぜひ、情報を編集人(広報委員会)までお寄せ下さい。

編集・発行人：野口洋平(愛知淑徳大学)

E-Mail: noguchik@asu.aasa.ac.jp

【学会 SNS アカウント】

Facebook

<http://www.facebook.com/jsthe.org/>

X(旧 Twitter)

<http://x.com/JSTHEducators>

